

## 第1回審議会意見等を踏まえたニーズ調査項目について

番号	ご意見	方向性
1	新制度移行に伴い、保護者に制度の概要などを理解してもらってから調査すべきだ。	市町村ニーズ調査表の冒頭に追加
	調査の視点:	
	設問:	
2	子育てはだんだん上手になっていくものなので、どう支えていくかという視点も大切だ。そうして育てられた子どもは良い親になっていくもの。良い循環をつくるためにも原点に戻らないといけない。	問11、12(国)「子どもの育ちをめぐる環境」でご意見の趣旨を包括
	調査の視点:うまくいかないと思った時にどうするか/身近な近所に聞ける人がいるか	
	設問:見てもらう人はいるか/その時の気持ちは/気軽に相談できる人は	
3	私たちはどんな場面で子育てについて刺激を受けるのか?それは地域や幼稚園、小学校、の活動を通じて、先生や地域の人たちに声をかけてもらうことだと思う。	問12(国)「子どもの育ちをめぐる環境」 問38、39(府)「子育てに対する意識」 でご意見の趣旨を包括
	調査の視点:子育てをしていく中で、地域に何をしてほしいか	
	設問:温かい声をかけてほしい/少し預かる時間を持ってほしい/少し先の子育ての方から見えるモデルが欲しい	
4	子どもにとって望ましい施設や保育のあり方を問いかける質問があってもいいのではないか。	問12(国)「子どもの育ちをめぐる環境」 問29(国)「小学校就学後の放課後の過ごし方」 でご意見の趣旨を包括 また、中間的なしくみについて、 問19の選択肢に「子育ての仲間で集まるママサークルなど」を追加
	調査の視点:こういう施設でこのように育てたい、施設と在宅の中間的位置づけの必要性、保育・教育の時間など	
	設問:	
5	子どものためには、1日に何時間くらいは家で居られるようにするのがいいか、根本的問題の検証が必要ではないか。	問18、19(国)「平日の子どもの施設利用状況」 でご意見の趣旨を包括
	調査の視点:子どもがどのような状態で、どれだけの時間を家で過ごしているのか	
	設問:	
6	日曜参観になると男性もほぼ参加していることから、関心は極めて高い。企業に対して長時間労働の抑制や、休暇取得の促進等を行政の方から発信していただきたい。	問43「仕事と子育ての両立」でご意見の趣旨を包括
	調査の視点:働く親の立場で会社に望むこと	
	設問:育児休暇/時短/温かい声かけ/理解	

番号	ご意見	方向性
7	<p>小学校でも自分の気持ちを伝えたり、人の気持ちを考えるのが苦手な子もいる。現状の認識として付け加えておいて欲しい。</p> <p>調査の視点:子どもの家族との関わりはどうか</p> <p>設問:</p>	大阪府調査①「家庭の養育力・教育力」に反映
8	<p>保護者が育ちの中でどうだったかに目を向けていくことが大切。</p> <p>調査の視点:育児体験があったか。複数の大人と関わって育ったか。近所の関わりがあったか。</p> <p>設問:</p>	大阪府調査①「家庭の養育力・教育力」に反映
9	<p>子どもはとりあえず大学に進学させるといった、将来像の固定化は如何なものか。</p> <p>調査の視点:将来の子どもはこうなってほしいという姿があるか</p> <p>設問:</p>	大阪府調査①「家庭の養育力・教育力」に反映
10	<p>民間参入の促進により障がい児の排除や保育士の質の低下が懸念される。</p> <p>調査の視点:民間参入で行政に対して求めるもの</p> <p>設問:</p>	大阪府調査②「保育士等確保のための実態調査」に反映